

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東北酸素(株)新充填場建設工事(混合充填)	階数	地上2F
建設地	大阪府高石市高砂1丁目4-4他3筆の各一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域 法22条地域 臨港地	平均居住人員	8人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年7月18日
敷地面積	15,577 m <sup>2</sup>	作成者	日鉄住金テックスエンジ株式会社 平瀬正行
建築面積	2,458 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月18日
延床面積	2,589 m <sup>2</sup>	確認者	日鉄住金テックスエンジ株式会社 平瀬正行

外観パース等  
 図を貼り付けるときは  
 シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 98%  
 ③上記+②以外の 98%  
 ④上記+ 98%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.2

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 0.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.0

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.3

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 建築物の耐久性確保と敷地内緑化の推進。	その他 0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 建築物空間のフレキシビリティを確保。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみに調和した建築計画
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 再生材と環境への影響が小さい材料の利用	LR3 敷地外環境 公害関係法令の遵守

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	泉北酸素株式会社新充填場建設工事(混合充填工場)	
		建設地	大阪府高石市高砂1丁目4-4,4-6,5-1,5-2の各一部	
		用途/区分	工場	
【評価結果】		CASBEE 総合評価		B-
		CO2削減		3
		省エネ対策		3
		みどり・ヒート アイランド対策		2
エネルギー消費量の報告				報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.0	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊		3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					